



## 日本初「穿くロボット」 ロボティックウェア curara®(クララ)新パンツタイプ試作モデル 発表会のご案内

超高齢化社会を迎え、歩行に障害のある方々をアシストするロボット技術の需要は年々高まっております。昨年は一部の製品が医療機器認定を受けるなど、ロボットはリハビリや介護に欠かせないアイテムになりつつあります。

信州大学繊維学部橋本・塚原研究室は 2011 年より、科学技術振興機構 (JST) A-STEP の支援を受け、地域企業とのプロジェクトにより、「着るロボット」と呼ばれる歩行アシストロボット、「ロボティックウェア curara®(クララ)」を開発してきました。そして、2015 年からは新たに東京都立産業技術研究センターとの共同開発で、「穿くロボット」curara®パンツタイプの開発を行っています。

この日本初となるパンツタイプ仕様は、すでに 5 年後の実用化を目指し開発される curara®の下肢モデルを進化させ、限りなく装着しやすくした、画期的な衣服一体モデルです。

今年 10 月に行われる予定の国際福祉機器展での発表に先立ち、ご興味のある企業や医療・介護機関の皆様にご披露することとなりました。(※添付資料は特定の企業・団体等に限定し、クローズドで案内させていただいているDMになります)

会場では装着と歩行のデモンストレーションも行います。是非、取材にお越しく下さい。

### 記

期日: 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 14:00~15:15 (受付 13:30 より)

会場: 文部科学省情報ひろば 1F ラウンジ

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

アクセス: 銀座線「虎ノ門駅」11 番出口 直結千代田線「霞ヶ関駅」A13 番出口 徒歩 5 分

※会場設営の都合で、お越しいただける報道機関様は事前にご連絡をお願いします。

※本件記事の解禁日時は平成 28 年 7 月 21 日 (木) 15:00 とさせていただきます。

信州大学と東京都立産業技術研究センターは、平成 28 年 3 月 10 日連携協定に関する協定を締結しました。産業振興に向けた技術支援や共同研究開発の推進、および産学公連携事業の活性化の取り組みを進めています。

#### ◆本発表会についての問い合わせ先

信州大学総務部総務課広報室 TEL0263-37-3056 伊藤・飯田

e-mail shinhp@shinshu-u.ac.jp